



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 パス株式会社

コード番号 3840 URL <http://www.pathway.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柴田 励司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 時田 匡二郎

TEL 03-6823-6011

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	1,360	348.7	△405	—	△417	—	△374	—
27年3月期第3四半期	390	31.4	△54	—	△62	—	△30	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △411百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 △30百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第3四半期	△26.38	—	—	—
27年3月期第3四半期	△3.76	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
28年3月期第3四半期	2,304	62.3	1,597	62.3	62.3	62.3
27年3月期	637	56.1	384	56.1	56.1	56.1

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 1,435百万円 27年3月期 357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
27年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 2社 (社名) 株式会社マードウレクス、除外 1社 (社名)
 株式会社ジヴァスタジオ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	17,045,900 株	27年3月期	11,633,800 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	— 株	27年3月期	646,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	14,203,463 株	27年3月期3Q	8,088,022 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により記載の予測数値と異なる可能性もあります。尚、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善がみられ、緩やかな景気回復の兆しがあったものの、海外経済の減速リスクの影響による景気の下振れが懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと当社グループでは、通信販売事業とメディア事業を融合させた新分野の開拓と、グループ各社、既存事業のシナジーの創出、収益向上効果による事業規模の拡大を図ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間より、株式会社マードゥレクス及び株式会社ジヴァスタジオを連結子会社としたことにより、報告セグメント「通信販売事業」を新たに追加しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間は、「コンサルティング事業」「決済代行業」「旅行事業」「メディア事業」「通信販売事業」の5つの報告セグメントに変更しております。

当社グループは、事業構造の改革と新規事業の創設に継続的に取り組みましたが、組織体制強化の為に人件費や他の諸経費及び事業戦略の構築に伴う一時的な諸費用発生により、十分な成果を上げることができませんでした。

この結果、売上高は1,360,848千円（前年同四半期比970,008千円増）となりました。営業損失405,887千円（前年同四半期比351,516千円増）、また、経常損失は417,598千円（前年同四半期比355,097千円増）、親会社株主に帰属する四半期純損失374,619千円（前年同四半期比344,202千円増）となりました。

今後も継続的に経営体制の改革に取り組み、株主の皆様の期待に応える成果を上げる所存です。

セグメントの状況は、次のとおりであります。

① コンサルティング事業

当事業は、業績改善・収益向上に寄与する事業としてコンサルティング事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は15,068千円（前年同四半期比69.0%減）、営業利益は9,559千円（前年同四半期比77.3%減）となりました。

② 決済代行業

当事業は、電子商取引を行うEC事業者に対するクレジットカード決済処理サービスの提供及びクレジットカード会社との加盟店契約代行並びに売上代金の収納代行を行う決済代行サービスを行っております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は8,972千円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益は2,215千円（前年同四半期比13.8%減）となりました。

③ 旅行事業

当事業は、連結子会社であるパス・トラベル株式会社により、法人・大学・団体の出張・渡航をサポートするトラベルコンシェルジュとして細やかなサービスで手配業務を行っております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は273,215千円（前年同四半期比18.1%減）、営業利益は2,548千円（前年同四半期は営業損失3,886千円）となりました。

④ メディア事業

当事業は、雑誌読者の会員基盤を擁し、会員向けに各種イベント開催や「DRESS部活」といった会員間のコミュニティ活動支援を行っており、さらには通信販売を展開するなどユニークな事業展開を行っております。EC事業、旅行事業と連携し、ビジネスの創出やサービス、商品を提供していくことにより、顧客ロイヤリティを獲得してまいります。なお、当第3四半期連結累計期間をもちまして、雑誌『DRESS』の出版事業を廃止しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は290,394千円、営業損失は201,679千円となりました。

⑤ 通信販売事業

当事業は、株式会社マードゥレクスにおきまして「女優肌」ファンデーションをはじめとした「エクスポーテ Ex:beaute」ブランド化粧品を中心とした事業を展開し、株式会社ジヴァスタジオにおきましては「美と健康」をキーワードとした商品の企画開発及び、TVショッピングを中心にカタログ・Web・店頭販売まで幅広いチャネルによる事業を展開しております。

当第2四半期連結累計期間より、当該2社の株式を新たに取得し、連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を当第2四半期連結会計期間の末日としているため、当第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は773,536千円、営業損失は54,227千円となりました。なお、当第3四半期連結会計期間より損益計算書を連結し、棚卸資産の未実現利益86,794千円を一括処理したことに伴う一時的な損失を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,589,687千円となり、前連結会計年度末に比べ968,896千円増加いたしました。これは主に、株式会社マードゥレクス及び株式会社ジヴェスタジオを連結子会社とし、売掛金が230,900千円増加、棚卸資産が503,420千円増加したことによるものであります。固定資産は715,155千円となり、前連結会計年度末に比べ698,214千円増加いたしました。これは主にのれんが468,737千円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は2,304,842千円となり、前連結会計年度末に比べ1,667,110千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は698,620千円となり、前連結会計年度末に比べ448,874千円増加いたしました。これは主に、株式会社マードゥレクス及び株式会社ジヴェスタジオを連結子会社とし、買掛金が251,702千円増加したことによるものであります。固定負債は8,718千円となり、前連結会計年度末に比べ5,182千円増加いたしました。

この結果、負債合計は707,339千円となり、前連結会計年度末に比べ454,056千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,597,503千円となり、前連結会計年度末に比べ1,213,054千円増加いたしました。これは主に、新株予約権行使による資本金及び資本準備金の合計が1,395,601千円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失374,619千円発生し、利益剰余金が減少したものであります。

この結果、自己資本比率は62.3%（前連結会計年度末は56.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

次期の見通しにつきましては、新規事業の立ち上げも予定される中で、現段階で具体的な内容が未決定なことから、業績予想を合理的に見積もることが困難なため、当期の業績予想の公表を差し控えさせていただきます。今後につきましては、新規事業の具体的な内容や業績に与える影響など、算定が可能となりました段階でお知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間より、株式会社マードゥレクス及び株式会社ジヴェスタジオを連結子会社としたことにより、報告セグメント「通信販売事業」を新たに追加しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間は、「コンサルティング事業」「決済代行事業」「旅行事業」「メディア事業」「通信販売事業」の5つの報告セグメントに変更しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において営業損失159,238千円、親会社株主に帰属する当期純損失150,051千円を計上し、当第3四半期連結累計期間におきましても、営業損失405,887千円（前年同四半期比351,517千円増）、親会社株主に帰属する四半期純損失374,619千円（前年同四半期比344,202千円増）を計上しております。

これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

今後に向け当社グループは、下記対策を講じ、当該状況の解消又は改善に努めてまいります。

① 既存事業における安定した収益の確保と収益力の強化

既存事業においては、安定した売上を確保し、徹底した固定費削減によって収益性を改善することで、早期に営業利益黒字化を達成することが最大の課題であると認識しております。

i. コンサルティング事業

コンサルティング事業におきましては、業績改善及び収益向上に寄与する事業として、クライアント企業の企業価値を高めることを目的とした、コンサルティング事業としてサービスを提供しております。

ii. 決済代行事業

決済代行事業におきましては、従来からの決済代行サービスを中核としつつ安定的に売上を計上しております。

iii. 旅行事業

旅行事業におきましては、営業活動の強化により、法人・大学・団体の出張・渡航をサポートするトラベルコンシェルジュとして細やかなサービスで手配業務を行うことで、国内・海外渡航の手配業務、学術渡航の企画販売及び手配業務の売上増加を図っております。企画提供する旅行サービスや損害保険事業のWeb決済を可能とし、決済代行事業の取扱高の増加、決済スピードを速めることでのサービスの向上を図り、当分野の開拓に努め、新規顧客やリピーターを増やし、安定した収益基盤を構築してまいります。

iv. メディア事業

メディア事業におきましては、雑誌読者の会員基盤を擁し、会員向けに各種イベント開催や「DRESS部活」といった会員間のコミュニティ活動支援を行っており、さらには通信販売を展開するなどユニークな事業展開を行います。EC事業、旅行事業と連携し、ビジネスの創出やサービス、商品を提供していくことにより、顧客ロイヤリティを獲得してまいります。なお、当第3四半期連結累計期間をもちまして、雑誌『DRESS』の出版事業を廃止しております。

v. 通信販売事業

通信販売事業におきましては、株式会社マードゥレクスにおきまして「女優肌」ファンデーションをはじめとした「エクスポーテ Ex:beaute」ブランド化粧品を中心とした事業を展開し、株式会社ジヴェスタジオにおきましては「美と健康」をキーワードとした商品の企画開発及び、TVショッピングを中心にカタログ・Web・店頭販売まで幅広いチャネルによる事業を展開しております。

② 新規事業の創設

新規事業による新たな収益基盤の構築を図るべく、戦略的事業及びM&Aも含めた新規事業の創設を進めてまいります。既存事業以外の新たな事業領域への参入を積極的に実行し成長させてまいります。

また、当社グループは、通信販売事業とメディア事業を融合させた新分野として「コミュニティ型マーケット」の確立と成長拡大を図ります。コミュニティに参加する者同士の“信頼できるおススメ”に基づく販売促進、商品、サービスの提供を行うマーケットプレイスの構築に注力するものであり、当社グループのコア事業の1つとして成長させてまいります。また、新分野の拡大に伴い、グループ各社、既存事業のシナジーの創出、収益向上効果による事業規模の拡大を図ってまいります。

③ 資本政策の促進

当社は、今後も新株予約権の行使促進等を含めた資本政策の実施を検討してまいります。

しかしこれらの対応策は実施途上にあり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。なお、四半期連結財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	349,139	407,859
売掛金	225,097	455,997
商品及び製品	1,198	447,910
仕掛品	12,166	-
原材料及び貯蔵品	-	56,708
前渡金	14,410	19,735
未収入金	19,362	25,397
その他	3,468	183,704
貸倒引当金	△4,053	△7,626
流動資産合計	620,791	1,589,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	501	48,098
減価償却累計額及び減損損失累計額	△94	△26,653
建物及び構築物(純額)	407	21,445
工具、器具及び備品	2,516	332,500
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,516	△281,996
工具、器具及び備品(純額)	-	50,503
その他	-	2,610
減価償却累計額及び減損損失累計額	-	△294
その他(純額)	-	2,315
有形固定資産合計	407	74,265
無形固定資産		
ソフトウェア	555	41,783
のれん	-	468,737
その他	-	10,145
無形固定資産合計	555	520,667
投資その他の資産		
敷金及び保証金	15,978	113,492
その他	-	25,328
貸倒引当金	-	△18,598
投資その他の資産合計	15,978	120,222
固定資産合計	16,941	715,155
資産合計	637,732	2,304,842

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	77,698	71,817
買掛金	53,684	305,386
1年内返済予定の長期借入金	5,350	-
未払金	39,381	196,096
前受金	26,153	10,934
未払法人税等	3,785	16,999
加盟店預り金	6,999	8,588
賞与引当金	2,310	6,458
返品調整引当金	28,137	25,979
その他	6,246	56,362
流動負債合計	249,746	698,620
固定負債		
退職給付に係る負債	3,536	3,748
その他	-	4,969
固定負債合計	3,536	8,718
負債合計	253,283	707,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,048,832	1,683,424
資本剰余金	1,051,834	1,812,843
利益剰余金	△1,685,998	△2,060,618
自己株式	△57,106	-
株主資本合計	357,562	1,435,650
新株予約権	8,020	8,359
非支配株主持分	18,867	153,493
純資産合計	384,449	1,597,503
負債純資産合計	637,732	2,304,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	390,840	1,360,848
売上原価	304,163	978,774
売上総利益	86,676	382,074
販売費及び一般管理費	141,047	787,961
営業損失(△)	△54,370	△405,887
営業外収益		
受取利息	12	2,072
故紙売却収入	-	1,075
保険返戻金	-	393
その他	146	570
営業外収益合計	159	4,112
営業外費用		
支払利息	191	32
株式交付費	7,565	15,209
その他	531	581
営業外費用合計	8,288	15,823
経常損失(△)	△62,500	△417,598
特別利益		
負ののれん発生益	33,642	-
投資有価証券売却益	-	22,990
特別利益合計	33,642	22,990
特別損失		
固定資産除却損	272	965
本社移転費用	629	-
和解金	-	3,000
特別損失合計	901	3,965
税金等調整前四半期純損失(△)	△29,760	△398,573
法人税、住民税及び事業税	780	5,514
法人税等調整額	-	7,485
法人税等合計	780	12,999
四半期純損失(△)	△30,540	△411,573
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△123	△36,954
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,417	△374,619

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純損失(△)	△30,540	△411,573
四半期包括利益	△30,540	△411,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△30,417	△374,619
非支配株主に係る四半期包括利益	△123	△36,954

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度において営業損失159,238千円、親会社株主に帰属する当期純損失150,051千円を計上し、当第3四半期連結累計期間におきましても、営業損失405,887千円（前年同四半期比351,517千円増）、親会社株主に帰属する四半期純損失374,619千円（前年同四半期比344,202千円増）を計上しております。

これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

今後に向け当社グループは、下記対策を講じ、当該状況の解消又は改善に努めてまいります。

① 既存事業における安定した収益の確保と収益力の強化

既存事業においては、安定した売上を確保し、徹底した固定費削減によって収益性を改善することで、早期に営業利益黒字化を達成することが最大の課題であると認識しております。

i. コンサルティング事業

コンサルティング事業におきましては、業績改善及び収益向上に寄与する事業として、クライアント企業の企業価値を高めることを目的とした、コンサルティング事業としてサービスを提供しております。

ii. 決済代行事業

決済代行事業におきましては、従来からの決済代行サービスを中核としつつ安定的に売上を計上しております。

iii. 旅行事業

旅行事業におきましては、営業活動の強化により、法人・大学・団体の出張・渡航をサポートするトラベルコンシェルジュとして細やかなサービスで手配業務を行うことで、国内・海外渡航の手配業務、学術渡航の企画販売及び手配業務の売上増加を図っております。企画提供する旅行サービスや損害保険事業のWeb決済を可能とし、決済代行事業の取扱高の増加、決済スピードを速めることでのサービスの向上を図り、当分野の開拓に努め、新規顧客やリピーターを増やし、安定した収益基盤を構築してまいります。

iv. メディア事業

メディア事業におきましては、雑誌読者の会員基盤を擁し、会員向けに各種イベント開催や「DRESS部活」といった会員間のコミュニティ活動支援を行っており、さらには通信販売を展開するなどユニークな事業展開を行います。EC事業、旅行事業と連携し、ビジネスの創出やサービス、商品を提供していくことにより、顧客ロイヤリティを獲得してまいります。なお、当第3四半期連結累計期間をもちまして、雑誌『DRESS』の出版事業を廃止しております。

v. 通信販売事業

通信販売事業におきましては、株式会社マードゥレクスにおきまして「女優肌」ファンデーションをはじめとした「エクスポーテ Ex:beaute」ブランド化粧品を中心とした事業を展開し、株式会社ジヴェアスタジオにおきましては「美と健康」をキーワードとした商品の企画開発及び、TVショッピングを中心にカタログ・Web・店頭販売まで幅広いチャネルによる事業を展開しております。

② 新規事業の創設

新規事業による新たな収益基盤の構築を図るべく、戦略的事業及びM&Aも含めた新規事業の創設を進めてまいります。既存事業以外の新たな事業領域への参入を積極的に実行し成長させてまいります。

また、当社グループは、通信販売事業とメディア事業を融合させた新分野として「コミュニティ型マーケット」の確立と成長拡大を図ります。コミュニティに参加する者同士の“信頼できるおススメ”に基づく販売促進、商品、サービスの提供を行うマーケットプレイスの構築に注力するものであり、当社グループのコア事業の1つとして成長させてまいります。また、新分野の拡大に伴い、グループ各社、既存事業のシナジーの創出、収益向上効果による事業規模の拡大を図ってまいります。

③ 資本政策の促進

当社は、今後も新株予約権の行使促進等を含めた資本政策の実施を検討してまいります。

しかしこれらの対応策は実施途上にあり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。なお、四半期連結財務諸表は、継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

第3四半期連結累計期間において、Oakキャピタル株式会社の第6回新株予約権の行使により、平成26年6月18日付で25,027千円、平成26年6月25日付で23,265千円、平成26年8月19日付で22,066千円、平成26年11月12日付で40,044千円、平成26年12月10日付で100,039千円、平成26年12月25日付で60,066千円の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が136,618千円、資本準備金が136,618千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が947,819千円、資本準備金が950,821千円となっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、当第3四半期連結累計期間においてOakキャピタル株式会社の第6回新株予約権及び第8回新株予約権の一部の行使により、払込みを受けました。また、第2四半期連結会計期間において連結子会社となった株式会社マドゥレックスの株式取得に際し、譲受対価の一部として第三者割当による自己株式の処分を行いました。

主にこれらの結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が634,592千円、資本準備金が634,592千円、その他資本剰余金が126,416千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,683,424千円、資本剰余金が1,812,843千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	コンサルティング事業	決済代行事業	旅行事業	メディア事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	48,759	8,317	333,763	—	390,840
セグメント間の内部売上高又は振替高					
計	48,759	8,317	333,763	—	390,840
セグメント利益又は損失(△)	42,137	2,570	△3,886	—	40,822

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	—	390,840	—	390,840
セグメント間の内部売上高又は振替高				
計	—	390,840	—	390,840
セグメント利益又は損失(△)	△70	40,751	△95,122	△54,370

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△95,122千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間に株式会社giftを連結子会社化したことを主因として、前連結会計年度の末日と比べて当第3四半期連結会計期間末の「メディア事業」セグメント資産の金額が318,602千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「メディア事業」セグメントにおいて、株式会社giftの株式を取得したことにより、新たに連結の範囲に含めております。これにより、当第3四半期連結累計期間において特別利益に負ののれん発生益が33,642千円計上されております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

報告セグメントの変更

当第2四半期連結会計期間より、コンサルティング事業を開始し、報告セグメント「コンサルティング事業」を新たに追加しております。

また、当第3四半期連結会計期間において、株式会社giftを当社の連結子会社とし、報告セグメント「メディア事業」を新たに追加しております。

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					
	コンサルティング事業	決済代行事業	旅行事業	メディア事業	通信販売事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	15,068	8,942	272,871	290,394	773,536	1,360,813
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	30	343	-	-	373
計	15,068	8,972	273,215	290,394	773,536	1,361,187
セグメント利益又は損失(△)	9,559	2,215	2,548	△201,679	△54,227	△241,583

	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	35	1,360,848	-	1,360,848
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	373	△373	
計	35	1,361,222	△373	1,360,848
セグメント利益又は損失(△)	△1,951	△243,534	△162,352	△405,887

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△162,352千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間に株式会社マードゥレクス及び株式会社ジヴェスタジオの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、前連結会計年度の末日と比べて当第3四半期連結会計期間末の「通信販売事業」セグメント資産の金額が1,835,233千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 (のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において、株式会社マードゥレクス及び株式会社ジヴェスタジオの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、当第3四半期連結累計期間において「通信販売事業」セグメントののれんの金額が468,737千円増加しております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

報告セグメントの変更

第2四半期連結会計期間において、株式会社マードゥレクス及び株式会社ジヴェスタジオの株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、当第3四半期連結累計期間より同社が営む「通信販売事業」を報告セグメントとして新たに追加しております。